

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成28年11月10日(2016.11.10)

【公表番号】特表2016-517669(P2016-517669A)

【公表日】平成28年6月16日(2016.6.16)

【年通号数】公開・登録公報2016-036

【出願番号】特願2016-501895(P2016-501895)

【国際特許分類】

H 04 W 48/16 (2009.01)

H 04 W 52/02 (2009.01)

【F I】

H 04 W 48/16 1 1 0

H 04 W 48/16 1 3 4

H 04 W 52/02

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月15日(2016.9.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

動きを使用してローカルワイヤレスネットワークの走査を低減するための方法であって

、ユーザデバイスの動き状態変化イベントが移動動き状態から定常動き状態への変化を示すか否かを決定するステップと、

前記動き状態変化イベントが移動動き状態から定常動き状態への変化を示すこと、および前記動き状態変化イベントの時間と前の動き状態変化イベントの時間との間の差がカットオフしきい値未満であることに基づいて、前記動き状態変化イベントを無視するステップであって、前記動き状態変化イベントを無視することが、ローカルワイヤレスネットワークの走査を抑制することを含む、無視するステップとを含む方法。

【請求項2】

前記移動動き状態が、歩行動き状態または走行動き状態のうちの1つである、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記動き状態変化イベントを無視する前記ステップが、

前記動き状態変化イベントの前記時間と前記前の動き状態変化イベントの前記時間との間の前記差が前記カットオフしきい値未満であるか否かを決定するステップとを含む、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記動き状態変化イベントの前記時間と前記前の動き状態変化イベントの前記時間との間の前記差が前記カットオフしきい値未満であるか否かを決定するステップと、

前記動き状態変化イベントの前記時間と前記前の動き状態変化イベントの前記時間との間の前記差が前記カットオフしきい値未満でないことに基づいて、ローカルワイヤレスネットワークを走査するステップと

をさらに含む、請求項2に記載の方法。

**【請求項 5】**

前記ユーザデバイスが、ローカルワイヤレスネットワークの前の走査の間に前記ユーザデバイスが配置されたのと同じ位置に配置されているか否かを決定するステップをさらに含む、請求項4に記載の方法。

**【請求項 6】**

前記ユーザデバイスが同じ位置に配置されていることに基づいて、前記カットオフしきい値を上げるステップと、

前記ユーザデバイスが同じ位置に配置されていないことに基づいて、前記カットオフしきい値を下げるステップと

をさらに含む、請求項5に記載の方法。

**【請求項 7】**

上げる前記ステップが、

前記カットオフしきい値の最小値、最大値、および1つまたは複数の中間値を指定するカットオフ行列に基づいて、前記カットオフしきい値を上げるステップを含む、請求項6に記載の方法。

**【請求項 8】**

下げる前記ステップが、

前記カットオフしきい値の最小値、最大値、および1つまたは複数の中間値を指定するカットオフ行列に基づいて、前記カットオフしきい値を下げるステップを含む、請求項6に記載の方法。

**【請求項 9】**

前記ユーザデバイスが同じ位置に配置されているか否かを決定する前記ステップが、前記走査の間に検出された1つまたは複数のローカルワイヤレスネットワークの1つまたは複数のパラメータに基づく、請求項5に記載の方法。

**【請求項 10】**

前記ユーザデバイスの第2の動き状態変化イベントが移動動き状態から定常動き状態への変化を示すか否かを決定するステップであって、前記移動動き状態が運転動き状態を含む、決定するステップと、

前記第2の動き状態変化イベントが移動動き状態から定常動き状態への変化を示すことに基づいて、前記第2の動き状態変化イベントを無視するステップとを含む、請求項1に記載の方法。

**【請求項 11】**

前記第2の動き状態変化イベントを無視する前記ステップが、

前記第2の動き状態変化イベントが移動動き状態から定常動き状態への初めての動き状態変化イベントであるか否かを決定するステップと、

前記第2の動き状態変化イベントが移動動き状態から定常動き状態への初めての動き状態変化イベントでないことに基づいて、前記第2の動き状態変化イベントを無視するステップと

を含む、請求項10に記載の方法。

**【請求項 12】**

前記第2の動き状態変化イベントが移動動き状態から定常動き状態への初めての動き状態変化イベントであることに基づいて、ローカルワイヤレスネットワークを走査するステップをさらに含む、請求項11に記載の方法。

**【請求項 13】**

前記第2の動き状態変化イベントが運転動き状態から定常動き状態への変化を示さないことに基づいて、前記第2の動き状態変化イベントが運転動き状態または定常動き状態から非定常動き状態または非運転動き状態への変化を示すか否かを決定するステップをさらに含む、請求項10に記載の方法。

**【請求項 14】**

前記第2の動き状態変化イベントが運転動き状態または定常動き状態から非定常動き状

態または非運動動き状態への変化を示すことに基づいて、ローカルワイヤレスネットワークを走査するステップをさらに含む、請求項13に記載の方法。

【請求項 15】

動きを使用してローカルワイヤレスネットワークの走査を低減するための装置であって、

ユーザデバイスの動き状態変化イベントが移動動き状態から定常動き状態への変化を示すか否かを決定するように構成された論理と、

前記動き状態変化イベントが移動動き状態から定常動き状態への変化を示すこと、および前記動き状態変化イベントの時間と前の動き状態変化イベントの時間との間の差がカットオフしきい値未満であることに基づいて、前記動き状態変化イベントを無視するように構成された論理であって、前記動き状態変化イベントを無視するように構成された前記論理が、ローカルワイヤレスネットワークの走査を抑制するように構成された論理を含む、無視するように構成された論理と

を含む装置。

【請求項 16】

前記移動動き状態が、歩行動き状態または走行動き状態のうちの1つである、請求項15に記載の装置。

【請求項 17】

前記動き状態変化イベントを無視するように構成された前記論理が、

前記動き状態変化イベントの前記時間と前記前の動き状態変化イベントの前記時間との間の前記差が前記カットオフしきい値未満であるか否かを決定するように構成された論理を含む、請求項16に記載の装置。

【請求項 18】

前記動き状態変化イベントの前記時間と前記前の動き状態変化イベントの前記時間との間の前記差が前記カットオフしきい値未満であるか否かを決定するように構成された論理と、

前記動き状態変化イベントの前記時間と前記前の動き状態変化イベントの前記時間との間の前記差が前記カットオフしきい値未満でないことに基づいて、ローカルワイヤレスネットワークを走査するように構成された論理と

をさらに含む、請求項16に記載の装置。

【請求項 19】

前記ユーザデバイスが、ローカルワイヤレスネットワークの前の走査の間に前記ユーザデバイスが配置されたのと同じ位置に配置されているか否かを決定するように構成された論理をさらに含む、請求項18に記載の装置。

【請求項 20】

前記ユーザデバイスが同じ位置に配置されていることに基づいて、前記カットオフしきい値を上げるように構成された論理と、

前記ユーザデバイスが同じ位置に配置されていないことに基づいて、前記カットオフしきい値を下げるように構成された論理と

をさらに含む、請求項19に記載の装置。

【請求項 21】

上げるように構成された前記論理が、

前記カットオフしきい値の最小値、最大値、および1つまたは複数の中間値を指定するカットオフ行列に基づいて、前記カットオフしきい値を上げるように構成された論理を含む、請求項20に記載の装置。

【請求項 22】

下げるよう構成された前記論理が、

前記カットオフしきい値の最小値、最大値、および1つまたは複数の中間値を指定するカットオフ行列に基づいて、前記カットオフしきい値を下げるよう構成された論理を含む、請求項20に記載の装置。

**【請求項 2 3】**

前記ユーザデバイスが同じ位置に配置されているか否かを決定するように構成された前記論理が、ローカルワイヤレスネットワークの走査の間に検出された1つまたは複数のローカルワイヤレスネットワークの1つまたは複数のパラメータに基づく、請求項19に記載の装置。

**【請求項 2 4】**

前記ユーザデバイスの第2の動き状態変化イベントが移動動き状態から定常動き状態への変化を示すか否かを決定するように構成された論理であって、前記移動動き状態が運転動き状態を含む、決定するように構成された論理と、

前記第2の動き状態変化イベントが移動動き状態から定常動き状態への変化を示すことに基づいて、前記第2の動き状態変化イベントを無視するように構成された論理とをさらに含む、請求項15に記載の装置。

**【請求項 2 5】**

前記第2の動き状態変化イベントを無視するように構成された前記論理が、

前記第2の動き状態変化イベントが移動動き状態から定常動き状態への初めての動き状態変化イベントであるか否かを決定するように構成された論理と、

前記第2の動き状態変化イベントが移動動き状態から定常動き状態への初めての動き状態変化イベントでないことにに基づいて、前記第2の動き状態変化イベントを無視するように構成された論理とを含む、請求項24に記載の装置。

**【請求項 2 6】**

前記第2の動き状態変化イベントが移動動き状態から定常動き状態への初めての動き状態変化イベントであることにに基づいて、ローカルワイヤレスネットワークを走査するように構成された論理をさらに含む、請求項25に記載の装置。

**【請求項 2 7】**

前記第2の動き状態変化イベントが運転動き状態から定常動き状態への変化を示さないことにに基づいて、前記第2の動き状態変化イベントが運転動き状態または定常動き状態から非定常動き状態または非運転動き状態への変化を示すか否かを決定するように構成された論理をさらに含む、請求項24に記載の装置。

**【請求項 2 8】**

前記第2の動き状態変化イベントが運転動き状態または定常動き状態から非定常動き状態または非運転動き状態への変化を示すことにに基づいて、ローカルワイヤレスネットワークを走査するように構成された論理をさらに含む、請求項27に記載の装置。

**【請求項 2 9】**

動きを使用してローカルワイヤレスネットワークの走査を低減するための装置であって、

ユーザデバイスの動き状態変化イベントが移動動き状態から定常動き状態への変化を示すか否かを決定するための手段と、

前記動き状態変化イベントが移動動き状態から定常動き状態への変化を示すこと、および前記動き状態変化イベントの時間と前の動き状態変化イベントの時間との間の差がカットオフしきい値未満であることにに基づいて、前記動き状態変化イベントを無視するための手段であって、前記動き状態変化イベントを無視することが、ローカルワイヤレスネットワークの走査を抑制することを含む、無視するための手段とを含む装置。

**【請求項 3 0】**

動きを使用してローカルワイヤレスネットワークの走査を低減するための非一時的コンピュータ可読記憶媒体であって、

ユーザデバイスの動き状態変化イベントが移動動き状態から定常動き状態への変化を示すか否かを決定するための少なくとも1つの命令と、

前記動き状態変化イベントが移動動き状態から定常動き状態への変化を示すこと、およ

び前記動き状態変化イベントの時間と前の動き状態変化イベントの時間との間の差がカットオフしきい値未満であることに基づいて、前記動き状態変化イベントを無視するための少なくとも1つの命令であって、前記動き状態変化イベントを無視することが、ローカルワイヤレスネットワークの走査を抑制することを含む、無視するための少なくとも1つの命令と  
を含む非一時的コンピュータ可読記憶媒体。